



栞野俊明

(ますの・しゅんみょう)

曹洞宗徳雄山建功寺住職、庭園デザイナー、多摩美術大学名誉教授。大学卒業後、大本山總持寺で修行。1982年、日本造園設計を設立後、国内外100件以上の庭園を手がけている。禅の思想と日本の伝統文化に根ざした「禅の庭」の創作活動を行い、国内外から高い評価を得る。芸術選奨文部大臣新人賞を庭園デザイナーとして初受賞。カナダ総督褒章、ドイツ連邦共和国功勞勲章功勞十字小綬章を受章。また、2006年「ニューズウィーク」誌日本版にて「世界が尊敬する日本人100人」にも選出される。『禅：シンプル生活のすすめ』など数々の禅に関するエッセイがベストセラーとなり、著作は現在46カ国で翻訳されている。庭園関係では、毎日新聞出版から「禅の庭」シリーズ4冊と、アメリカTuttle社より、作品集2冊が出版されている。